

ベビー用品を用意しておきましょう

生まれる季節を考えて、最低限のものを揃えておきましょう。

特に、早産傾向の方は早めに準備しましょう。

◎ 沐浴用品 ◎

品名	数	アドバイス
ベビーバス	1	生後1ヶ月まで使用。購入してもよいですが、レンタルを利用するのも便利です。衣装ケースで代用もできます。
ガーゼハンカチ	10	多用途に使えるので多めに。
バスタオル	数枚	多用途に使えるので多めに。
石けん	1	ベビー石けん
洗面器	1	顔をきれいなお湯で洗うために使います。
湯温計	1	感覚で分かるようになるまで必要です。



◎ 衣類 ◎

短肌着	5~6	吸湿性のよい綿100%のものを。ボタンよりひもつきの方が幅の調節が可能です。手作りならぬいしろが表になるようにしましょう。夏は長肌着は不要です。
長肌着	5~6	
ベビードレス	5~6	綿100%で動きやすい形もの。成長のことを考え、新生児用は最低限のものを揃え、買い足す時は少し大きめのサイズにしましょう。(新生児用の50~60cmは使用期間が短いので、80cmくらいのを早い時期から1歳すぎまで着ることが多いです)
紙おむつ	1~2パック	紙おむつの場合、肌に合わなかったり、サイズがすぐに大きくなって合わなかったりすることがあるので、少ない量のパックを用意することをおすすめします。合えば大きいパックを購入するとよいでしょう。おむつカバーは不要です。
布おむつ	30~40	布の場合は、吸水性に優れていてソフトなものを。一度洗濯をして糊を落としてから使用しましょう。使用済みのものをいれるおむつバケツがあると便利です。おむつカバーが必要です。
おむつカバー	3~4	新生児用2枚、3カ月用1枚程度。ウール100%のものがもれにくく、むれにくいです。紙おむつ使用時は不要です。
おくるみ	1	バスタオルでも代用できます。

※ 季節にあわせて枚数は調節してください

◎ 寝具 ◎

シーツ 布団カバー	2~3	
掛け布団	1	軽くて通気性のあるものを。
敷布団	1	固めのものを使いましょう。柔らかくてフカフカのものは窒息の危険があります。
ベビー ベッド	1	必ずしも必要ではないです。使用時はマットレス、シーツも。



◎ 調乳用品 ◎

母乳で十分足りると必要ないこともありますので、母乳栄養希望の方は入院中の母乳の状況を見てから、退院の時に準備しても大丈夫です。

哺乳瓶	2	乳首にはいろいろなタイプがあります。赤ちゃんによって、合うもの・合わないものがありますので、入院中にスタッフと一緒に相談してからの購入がよいでしょう。
乳首	2	
ビン洗い ブラシ	1	
消毒用品	各1	<ul style="list-style-type: none"> 煮沸消毒：ナベ、ビンばさみ（さいばし） ミルトン消毒：ミルトン消毒ケース、消毒液 電子レンジ消毒：電子レンジ用消毒ケース or 袋 ※生活スタイルに合うものを選びましょう

◎ その他 ◎

体温計	1	小児用。大人用の体温計でも代用できます。
綿棒	1	多用途に使用できます。
爪切り	1	赤ちゃん用が使いやすく安全です。

